授業改善推准プラン 全体計画

《未以告批准ノ)	土 144 司 四	
	令和7年度	小平市立小平第十三小学校

- 〇教育基本法 ○学校教育法
- ○学習指導要領
- ○東京都教育委員会 の教育目標・基本方針
- 〇小平市教育振興基本計画

<u>小平市立小平第十三小学校 学校教育目標</u>

- 自ら考え行動する子ども
- 仲良く助け合う子ども \circ
- 明るく元気な子ども

- ○学校、児童・地域の実態
- ○期待される児童像
- ○保護者の期待や願い ○地域の期待や願い

各教科の指導の重点

●国語科

- 国語を適切に表現し正確に理解する能力 の音成
- 伝え合う力の定着と向上 国語を尊重する態度の育成

●社会科

- ・学年の課題に合った資料(地図・写真・文章)を読み取る力の育成 ・課題の解決に向けて、考えたことや選択・判 斯したことを説明したり、話し合ったりする力 の育成

●算数科

- ●理科
- ・具体的、体験的な活動から課題を導き出す力
- の児童の育成 ・課題の解決に向けて、予想、事実、実験を積 み重ね、分かったこと、考えたことを説明した り、話し合ったりする力の育成

●生活科

- ・具体的な活動や体験の充実 ・自分と身近な人々、社会や自然とのかかわり に関心をもち、自立への基礎の育成

- 1 本工工・ ・ 音や音楽を通した、友達と協働する力の育成 ・ 音楽的な模擬を基に自分の考えをもち、 表現や聴き方に生かす力の育成 ・ 主体的に帯や音楽に関わったり試行錯誤した リする力の育成 ・ 豊かな情様の育成

●図画工作科

- 造形的な創造活動の基礎的な能力の育成 豊かな情操の育成
- ●家庭科
- ・衣食住などに関する実践的・体験的活動の充
- 、 ・家庭生活を大切にする心情の育成 ・家族の一員としての実践的な態度の意見

・適切な運動の経験と健康安全についての理解 ・生涯を通じて、健康・安全な生活を送れるた めの基礎の育成 ・基本的な動きや技能と体力の向上

【目指す学校像】

子どもたちが、毎日、笑顔で登校し、 笑顔で下校する学校

学力<u>向上に向けた具体的な手だて</u>

- 2<u>問題解決的な学習の意図的・計画的な実施</u> 児童の発達段階や実態に合わせた課題設定
- __児童が「自ら」「他と共に」学ぶための工夫 __児童の学びを支える指導感の共有 ○ 学習形態の工夫(個・ペア・グループ等)
- 考える楽しさを味わわせ、思考力・判断力を高める授業) 具体的な教材や掲示物の工夫) 体験的な学習の充実
- - 地域の教育資源を活用した授業

特別の教科 道徳の指導の重点 道徳的実践力の育成

・道徳的価値の自覚と涵養

外国語活動の指導の重点

・コミュニケーション 能力の育成

総合的な学習の時間の指導の重点

- 教科横断的な学び方の獲得
- 問題解決能力の育成
- 自分らしさの発揮

特別活動の指導の重点

- クラブ活動・委員会活動の充実
- 教科等との関連 ・適切な合意形成と意思決定
- たてわり班による活動
- 人間関係形成力・社会 貢献・自己実現を目指 した諸活動

生活指導の重点

- 「スマイル13」の徹底
- 避難訓練、安全指導等の実施
- 基本的生活習慣の徹底

特別支援教育の重点

- スクールカウンセラー 及び特別支援教室専門 員との連携
 - 保護者や関係機関 との連携相談

キャリア教育の重点

体験的な学習を通した 勤労と生き方への指導

朝学習 「漢字練習」「計算練習(東京ベーシックドリル等)」 「読書」の10分間の集中トレーニング 十三小スタンダード ・ホワイトボードによる、学習の流れの理解 〈授業展開〉 授養展開/ ・課題 ・認題 ・めあて ・自分の考えをもつ ・ペア、グループ交流、ノートを見合う活動 ・全体交流 ・まとめ ・なとめ - 学習の補充 - サマースクール - 算数学習ボランティア - 学習者用端末等を活用した家庭学習

		【授業改善に向けた校内体制】		
		指導体制の改善 学習基盤の充実 プランの評価・改善		
1 学報担任に、学習補助員を加えた。複数の スタッフによる指導システム(1~3年生) 2 換素必善推進プランの作成と授素必善 ⇒研究授業、所究協議金の実施を通して 3 学力向上(智熟度)委員会の設置 ⇒教務主任・算数担当・実施学年主任で 構成し、智熱度別算数指導の方法につい で協議する。				
各学年の重点とする取組				
1 年	国語科	◎話型を示し、事柄の順序を考えて話をさせる。◎問題を読み取ったことをブロックで操作したり、図で表現したりしてから立式する。		
' +	算数科			
2年	国語科 算数科	⑥スキルとデジタルドリルを活用し、授業、朝学習、家庭学習で毎日カタカナや漢字の練習をさせる。作文などの添削を丁寧に行う。 侵援業の初めや、単元のまとめの時間に、計算スキルやデジタルドリルで繰り返し練習させ、基礎的なたし算・ひき算の計算の習熟、かけ算九九の暗唱ができるようにする。		
3年	国語科 算数科	◎漢字や語彙の習得のため、ミニテストを使った反復練習を行う。デジタルドリルの活用を通し、既習漢字や言葉の学習を繰り返し復習させることで定着を図る。◎計算の意味や仕方を、言葉や数、式、図、数直線等を用いて説明させる。多様な考え方をグループや全体で共有するこ		
	国語科	とで、考えの幅を広げるとともに、相手に伝える力を育む。		
4年	算数科	◎既習事項を基にした自己解決の時間、ベアやグループで考えたことの発表や交流・検討の時間を十分に設定し、多様な考えにふれられるようにする。		
5年	算数科	◎習熟度別コースの実態に応じて、全体で考える時間をとり、課題解決の見通しをもたせる。		
3 #	社会科	◎学習問題を明確にした上で調べ学習を行い、分かったことを自分の言葉でまとめさせる。		
6年	社会科 算数科	◎複数の資料を比較し、共通点や相違点を明らかにする活動に取り組む。読み取ったことを白地図や年表、図表などにまとめる。◎既習事項を活用して課題解決に臨ませる。自力解決→全体共有という流れを基本とする。		